

知床の森から



北見営林支局
知床森林センター

☎ 099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地
☎ 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

秋晴れの下、硫黄山登山を楽しむ！

第14回「森林レクリエーション in 知床」

「今なお噴気・熱水活動の続く新噴火口の神秘をのぞき、高山植物と野生動物達とのふれあいを体験しませんか」と銘打った、第14回「森林レクリエーション in 知床」を秋風の漂うころとなった9月8日(火)総勢34名の参加のもと、知床硫黄山で実施しました。

冷夏で過ぎるかと思われた8月も、下旬になって暑さが続き、どうにか北海道にも「夏」がきたところですが、すでに空は秋空、硫黄山に至る道筋の草花も、ハギ・ススキなど秋の花へと衣替えがはじまっています。

コエソセミの鳴き声だけが夏の名残りを漂わせる、片道約2kmの起伏に富んだコースでは、火山活動の後の荒々しい山肌に、レガみつくようにして生きている草木の生命力の強さに感心したり、噴気活動を続ける新噴火口では、溶岩の隙間から吹き出す高温の蒸気を見て「もう噴火しないのかな?」、「近づいてもだいじょうぶ?」など恐怖心と自然の驚異にあらためて感嘆していました。大自然という大広間の中で、天然石をテーブルとイス替わりにして食べたお弁当のおいしさ! 食も進みました。又、吹き出る熱水を利用して「ゆで卵」を作ったり、硫黄の漂白作用を10円硬貨で実験するなど楽しい一日を過ごし、13時頃噴火口をあとに帰路に着きました。



// 残念 // 9月12日の森林教室、台風のため中止

9月10日来、道東の各地に大きな被害を与えた台風17号は、このオホーツク地方にもその爪あとを残し、斜里町内でも数か所の道路不通や多くの家屋に浸水等の被害を与えました。この12日、森林教室に参加を希望していた子供達の家にもこの被害に遭った所があり、また道路も深い所では腰まで水が被るほどであり、子供が出歩くことは危険なほどでした。このため、学校週5日制にあわせ子供達を対象とした森林教室『森林の中の不思議を発見しませんか?』を中止したものです。子供達の住む町の近くの森での「不思議発見」ということで楽しみにしていた森林教室でしたので、またの機会を持ちたいと考えています。

第13回 斜里町産業まつり 10月4日開催決定

センター、新たに「子供丸太早切り選手権大会」を予定

今年で第13回を迎える「しれとこ産業まつり」と銘打った斜里町産業祭りは、10月4日に開催することが町内各企業・団体が構成する実行委員会決定されました。

今年は天候不順な日が続き、農作物の作況が心配されていることもあり、「不況、吹き飛ばせ」と経済振興のため町挙げての取組みが進められています。

参加団体も昨年より5団体増え、各団体共趣向をこらした出展となりそうです。知床森林センターも清里営林署と共催で参加することとしております。

出し物は毎年好評である木の年齢を当てる、「年輪当てクイズ」の他、子供たちを対象とした「丸太早切り選手権大会」を新たに打ち合わせ予定。子供たちに、また町民の方に楽しんでもらえる内容にしたいと職員一同知恵を絞っているところです。



昨年の国有林コエソセミの展示

秋

山を彩る木の葉達



ヤマモミジ



イタヤカエデ

トピックス

森林の樹木 早くも紅葉?

森林の木々に、さほど強い霜が降りていないのに、葉が褐色に変色し始めた樹木が目につきます。

これは、9月4~6日にかけて当地方をおおった低気圧による潮風の影響によるものと思われる。

ナナカマドの実が色付き、厳しい冬が訪れるまでの一時、目を楽しませてくれ、心をなごませてくれる木々の紅葉ですが、褐色に変色したり、葉を落としてしまった樹木を見ると、今年はちょっとさみしい紅葉になりそうです。



知床自然観察教育林での出会い コエソセミの誕生の瞬間

夏の暑いある日、いつも森林浴等で原生的自然を楽しんでいた「知床自然観察教育林」の中で、新たな生命の誕生に出会いました。コエソセミの誕生です。

脚を突っ張り必死になって旅立とうとしているセミの姿を見ると、「ガンバレ」と応援してしまいました。



知床自然観察教育林では、動物や植物達の自然な生きざまに接することが出来ます。